



公益社団法人 兵庫工業会

理事 小谷 要

(グローリー株式会社 取締役 専務執行役員)



兵庫工業会 NEWS

平成29年6月号

発行 / 公益社団法人 兵庫工業会

No.280

活発で創造的なエンジニアを育てよう! —■ 巻頭言 ■

昨年より理事としてお世話になっておりますグローリーの小谷と申します。今回の兵庫工業会ニュースで多くの皆様に覚えて頂ければ幸いです。

弊社は主に金融機関で使われる通貨処理機、流通小売店舗で使われるレジ釣り銭機等を企画・開発から製造・販売・アフターサービスまで一貫して行っています。弊社のコア技術である「認識・識別技術」と「メカトロ技術」を駆使し、材質や大きさの異なる世界100カ国以上の紙幣と硬貨の金種や真偽判定をスピーディーに処理します。これらの高度な技術を創り出すのがエンジニアです。エンジニアは国内・海外のグループ会社全体で約1,000名。多くの資源を投入して日々、コア技術の研鑽に努めています。

弊社は海外ビジネスを拡大すべく、英国の競合会社を4年前に買収しました。開発拠点・設計効率の最適化を目指し、買収のシナジー効果追求のプロセスに於いて、我々管理者は欧米のエンジニアの仕事に対する考え方は日本のエンジニアとは全く違うということを確認させられました。

日本における一気通貫のものづくりは、製品の量産性・品質確保のために行程の前後の部門とコンカレント開発を推進し、エンジニアは関連部門からの様々なフィードバックを図面に反映させていきます。一方、欧米のエンジニアは製品開発では自分達がオーナーシップの成果主義である為、関連部門からのフィードバックは自分達の仕事ではなく余計な仕事であるという考え方です。また、どんなに開発が遅延しても与えられた長期休暇は確実に取るし、残業をして挽回しようなんて事は一切しません。何故なら自分の評価にならないから。さらに、自分の首が懸かっているので技術を伝承しないし、若手も育てない。自分のキャリアUPのためだけに働き、5~7年で給料が高い会社に転職します。その反面、彼らは常に新しいデバイス・加工方法・開発手法を取り入れようとするところは、マニュアル型の日本のエンジニアにはない優れた部分です。これに対して日本のエンジニアは、真面目に開発に取り組み、休暇も取らず、残業もいとわず地道にコツコツと遣り切り、QCDを絶対に守ろうとします。日本の製造業はこういうエンジニア魂で成長して来ました。

今、企業には日本のものづくりの良い部分を継承しつつ、今までの働き方を改革し時間生産性を更にUPしてワークライフバランスを改善する事が求められています。

弊社の事業を取巻く環境は国内外において急速に変化しています。ここでビジネスチャンスを掴むためには市場の動きを素早く察知し、一層顧客目線に立ったものづくりを行うしかありません。

私は、研究開発型企業の弊社にとって一番大切なことは、社員が高い志で生き活きと開発に取り組むことだと考えています。そのために「For Active and Creative Engineers!」(活発で創造的なエンジニアを目指して!)を合言葉に活性化活動(FACE活動)を行っています。開発プロセスでのコミュニケーション不足をなくし、全員が目標に向かって言いたいことが言える活性化した職場を作り、新しいアイデアを生み出す風土を目指しています。

弊社は2018年に創業100周年を迎えます。創業者から継承する「絶えざる開発の心」という「グローリーのDNA」を発揮し、「GLORYを世界のトップブランドに!」をビジョンに韓国・中国メーカーに追随されない一歩先行く未来の製品を生み出し続けてまいります。

平成29年 第1回理事会 (書面表決) 及び 第58回通常総会のご報告

会員の皆様には総会にご出席賜り御礼申し上げます。

【理事会】

平成29年5月12日(金)第1回理事会(書面表決)にて、以下の議案について62名の理事及び2名の監事の全員に賛成表決をいただきました。これにより、審議案件は、原案通り全て承認されました。

- 〈議案〉 第1号議案 平成28年度事業報告について
第2号議案 平成28年度収支決算について
第3号議案 役員の変更について



大西会長 開会のご挨拶

【総会】

第58回通常総会は5月31日(水)に正会員399会員のうち310会員(委任状を含む)の出席のもと、神戸ポートピアホテルにて開催。大西功一会長の開会挨拶に続き、金澤和夫兵庫県副知事に来賓ご挨拶をいただきました。

引き続き、大西会長が議長となり、以下の議案について審議が行われました。その結果、全ての議案が原案通り承認され、第58回通常総会は滞りなく終了いたしました。

- 〈議案〉 第1号議案 平成28年度事業報告について
第2号議案 平成28年度収支決算について
第3号議案 役員を選任について



金澤兵庫県副知事 来賓のご挨拶

◆議案審議の後、第4回フレッシュマン産業論文コンクール表彰式を行いました。第4回目の受賞者は、6名の方々です(後述)。皆様、おめでとうございます。

◆引き続き、平成29年度春の叙勲の栄に浴されました2人の方に、受章を称え、花束を贈呈いたしました。

- ・ 旭日双光章 まねき食品株式会社 代表取締役社長 竹田 佑一 氏
- ・ 旭日単光章 明興産業株式会社 代表取締役会長 下土井 康晴 氏

◆通常総会の途中、臨時理事会を別室において開催し、役付理事選任等を決定しました。その結果、会長に大西功一氏、副会長に村元四郎氏、金井宏彰氏、馬場宏之氏、竹田佑一氏を再任し、専務理事に宮本要氏、常務理事に荒木俊光氏を再任致しました。

これらにつきましては、総会出席者全員に報告し、満場の拍手をうけ、大西体制は二期目の出発となりました。

会 長	大 西 功 一	(株)神戸製鋼所	顧問	再任
副 会 長	村 元 四 郎	(株)村元工作所	特別顧問	再任
〃	金 井 宏 彰	金井重要工業(株)	代表取締役社長	再任
〃	馬 場 宏 之	ダンロップスポーツ(株)	相談役	再任
〃	竹 田 佑 一	まねき食品(株)	代表取締役社長	再任
専 務 理 事	宮 本 要	公益社団法人 兵庫工業会		再任
常 務 理 事	荒 木 俊 光	公益社団法人 兵庫工業会		再任
事 務 局 長				
理 事	58名			
監 事	2名			

(新役員名簿は3頁に掲載)

◆通常総会終了後、兵庫県立大学 学長兼副理事長 太田 勲氏より、「県内企業の技術力・経営力向上に向けた兵庫県立大学の役割」についてのご講演をいただきました。



兵庫県立大学 太田学長のご講演

新 役 員 紹 介



理 事
下 村 俊 子
株式会社神戸風月堂
代表取締役会長兼社長



理 事
久 木 元 悦 子
株式会社関西工事
代表取締役



理 事
山 本 純 三
シスメックス株式会社
常務執行役員



理 事
中 川 裕 子
日本ライニング工業株式会社
代表取締役社長



理 事
大 久 保 安
株式会社神戸製鋼所
常務執行役員



理 事
井 上 美 智 代
株式会社井上鉄工所
代表取締役専務



理 事
畠 田 真 一
旭光電機株式会社
代表取締役社長



理 事
清 水 泰 人
株式会社シミズテック
代表取締役社長



理 事
井 上 佳 昭
大阪ガス株式会社
理事 兵庫・姫路統括地区支配人
兼兵庫地区支配人



理 事
松 本 眞 一
関西電力株式会社 神戸支社
理事 神戸支社長



理 事
西 脇 剛 史
株式会社アシックス
取締役執行役員



理 事
中 西 恭 史
三菱電機株式会社 神戸製作所
総務部長



理 事
中 村 啓
川崎重工業株式会社
総務本部 総務部長



理 事
近 藤 輝
大王電機株式会社
代表取締役社長



理 事
瀧 川 勝 吾
滝川工業株式会社
代表取締役社長



監 事
藤 嶋 純 子
株式会社フジ・データ・システム
代表取締役

公益社団法人 兵庫工業会 役員名簿

平成29年6月1日現在

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
会 長	大 西 功 一	株式会社神戸製鋼所	(顧問)
副 会 長	村 元 四 郎	株式会社村元工作所	(特別顧問)
〃	金 井 宏 彰	金井重要工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	馬 場 宏 之	ダンロップスポーツ株式会社	(相談役)
〃	竹 田 佑 一	まねき食品株式会社	(代表取締役社長)
専務理事	宮 本 要	公益社団法人 兵庫工業会	(専務理事)
常務理事	荒 木 俊 光	公益社団法人 兵庫工業会	(常務理事 事務局長)
理 事	岡 田 保	株式会社岡田金属工業所	(代表取締役社長)
〃	森 田 文 藏	青木鉄工株式会社	(代表取締役会長)
〃	浅 井 昌 信	ヒガシマル醤油株式会社	(代表取締役会長)
〃	下土井 康 晴	明興産業株式会社	(代表取締役会長)
〃	友 藤 公 雄	兵神機械工業株式会社	(取締役社長)
〃	川 旗 邦 彦	株式会社旭工業所	(取締役相談役)
〃	番 所 利 行	株式会社洲本整備機製作所	(代表取締役社長)
〃	宮 内 康 伴	福伸電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	阿比野 剛	阿比野建設株式会社	(代表取締役社長)
〃	頃 安 雅 樹	極東産機株式会社	(代表取締役社長)
〃	上 月 靖 史	上月ウディックス株式会社	(代表取締役)
〃	降 矢 寿 民	フルヤ工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	大 庫 良 一	オークラ輸送機株式会社	(代表取締役社長)
〃	黒 田 直 樹	三相電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	井 上 直 也	新光電機株式会社	(代表取締役社長)
〃	吉 田 修	音羽電機工業株式会社	(代表取締役社長)
〃	太 田 勲	兵庫県立大学	(学長兼副理事長)
〃	黒 田 次 郎	姫路信用金庫	(専務理事)
〃	神 門 登	ハニー化成株式会社	(専務取締役)
〃	安 藤 隆	株式会社布引製作所	(代表取締役社長)
〃	石 田 和 史	株式会社誠工社	(代表取締役会長)
〃	矮 松 一 磨	古野電気株式会社	(取締役 営業企画部長)
〃	小 松 俊 彦	住友ゴム工業株式会社	(執行役員 人事総務部長)
〃	三 津 千久磨	ミツ精機株式会社	(代表取締役社長)
〃	眞 下 忠	神港精機株式会社	(代表取締役社長)
〃	上 村 勝 敏	株式会社トーホー	(代表取締役社長)

役職名	氏 名	会 社 名	役 職
〃	高 馬 勇	株 式 会 社 タ ク ミ ナ	(顧 問)
〃	櫻 井 一 雅	白 鶴 酒 造 株 式 会 社	(取締役 執行役員 生産本部長)
〃	高 橋 勝 彦	カ ル モ 鋳 工 株 式 会 社	(常 任 顧 問)
〃	苗 村 康 夫	株 式 会 社 岡 崎 製 作 所	(取締役 管理本部長)
〃	岡 村 武 和	株 式 会 社 OKAMURA	(代表取締役社長)
〃	豊 嶋 義 富	菱 井 商 事 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	大 島 孝 一 郎	大 島 金 属 工 業 株 式 会 社	(代 表 取 締 役)
〃	今 北 毅	株 式 会 社 コ ベ ル コ 科 研	(常 務 取 締 役)
〃	池 田 浩	三 ツ 星 ベ ル ト 株 式 会 社	(常 務 執 行 役 員) (経営企画室長兼社長室長)
〃	富 山 明 男	神 戸 大 学 大 学 院	(工 学 研 究 科 長)
〃	中 川 啓 之	第 一 熱 研 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	阿 倉 和 哉	株 式 会 社 兵 庫 精 密 工 業 所	(代表取締役社長)
〃	深 田 修 司	兵 庫 県 中 小 企 業 団 体 中 央 会	(専 務 理 事)
〃	小 澤 重 雄	株 式 会 社 IHI 相 生 事 業 所	(相 生 事 業 所 長)
〃	小 谷 要	グ ロー リ ー 株 式 会 社	(取締役 専務執行役員)
〃	戎 井 昭 彦	三 菱 重 工 業 株 式 会 社 神 戸 造 船 所	(所 長 代 理)
〃	小 川 賢 一	株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	(公共・金融法人部 部長)
〃	下 村 俊 子	株 式 会 社 神 戸 風 月 堂	(代表取締役会長兼社長)
〃	久 木 元 悦 子	株 式 会 社 関 西 工 事	(代 表 取 締 役)
〃	瀧 川 勝 吾	滝 川 工 業 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	山 本 純 三	シ ス メ ッ ク ス 株 式 会 社	(常 務 執 行 役 員)
〃	中 川 裕 子	日 本 ラ イ ニ ン グ 工 業 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	大 久 保 安	株 式 会 社 神 戸 製 鋼 所	(常 務 執 行 役 員)
〃	井 上 美 智 代	株 式 会 社 井 上 鉄 工 所	(代表取締役専務)
〃	畠 田 真 一	旭 光 電 機 株 式 会 社	(代表取締役社長)
〃	清 水 泰 人	株 式 会 社 シ ミ ズ テ ッ ク	(代表取締役社長)
〃	井 上 佳 昭	大 阪 ガ ス 株 式 会 社	(理事 兵庫・姫路統括地区 支配人兼兵庫地区支配人)
〃	松 本 眞 一	関 西 電 力 株 式 会 社 神 戸 支 社	(理事 神戸支社長)
〃	西 脇 剛 史	株 式 会 社 ア シ ッ ク ス	(取締役執行役員)
〃	中 西 恭 吏	三 菱 電 機 株 式 会 社 神 戸 製 作 所	(総 務 部 長)
〃	中 村 啓	川 崎 重 工 業 株 式 会 社	(総務本部 総務部長)
〃	近 藤 輝	大 王 電 機 株 式 会 社	(代表取締役社長)
監 事	山 本 博 和	株 式 会 社 山 本 電 機 製 作 所	(代表取締役社長)
〃	藤 嶋 純 子	株 式 会 社 フ ジ ・ デ ー タ ・ シ ス テ ム	(代 表 取 締 役)

兵庫工業会

第4回フレッシュマン産業論文コンクール

最優秀賞
論文

論題：企業人としての私

長谷川電機工業株式会社 佐野 桂介



一. はじめに

私はこの春に学生を卒業し、企業人として新たな生活をスタートさせた。企業人として働く上で、私が必ず意識していることは、「常に向上心を持って、挑戦することで成長していく」ことである。

そこで本論文では、なぜ私が挑戦をすることを意識しているかを述べ、次に現在私が何を目的とし、挑戦しているかを述べる。最後に将来自分が目指す目標と、それに対する挑戦方法を考える。

二. 挑戦する理由

私は小学校の頃、卒業文集に学者になりたいと書いたことを今でも覚えている。しかし、本当は学者になりたかった訳ではなく、夢が思い浮かばなかったので、適当に書いただけである。私は昔から夢が無く、挑戦という言葉からは程遠い生活を送っていた。そんな私に転機が訪れるのは、大学に入学してからになる。

大学では電気のことを勉強していたが、決して電気のことを勉強したくて、入学したわけではない。授業は単位だけ取れば良いと考えていたため、一番低い評価で取れるくらいの勉強で済ましていた。しかし、電気の勉強は積み重ねが大事であり、徐々に理解ができなくなっていった。また、部活動をしていたことで、その管理をするグループにも選ばれるなど、時間も取れなくなってきてしまった。その影響もあって、大学で留年をする事となった。しかし、これが私にとって最大の転機となった。

当時、私は親に授業料を支払ってもらっており、留年したと言うことは、余分に授業料を支払ってもらうことになる。食事など生活費もかかるのに、それは申し訳ないと思った。そこで、私は自分から親に、留年した分の学費は自分で支払うことを約束し、アルバイトを始めた。アルバイトを始めてみたものの、全く役に立たない日々が続いた。私は少しでも役に立ちたいという思いから、それまで一度もしたことのない仕事であっても、率先して仕事を行った。そうして色々な仕事に取り組んでいると、自分にできることが確実に増えている実感を得ることができた。この頃から、率先して色々なことに挑戦していった。できることが増えていき、他人の役に立つことを目的とするようになった。それが、私が「挑戦することで、成長していく」ことを意識している理由である。

三. 現在の挑戦

この春から私は、「長谷川電機工業」という企業でお世話になっている。長谷川電機工業は、「検電器」・「検相器」・「継電器」などの製品開発や製造及び販売を行う企業である。一般的にはあまりなじみの無い名称かもしれないが、これらは電気環境の安全作りに重要な役割を果たしている。安全を目指す企業である以上、常に挑戦を続けてきた企業で、電気関係の仕事を行っている人々の役に立てる企業である。私の挑戦することで成長し、人々の役に立ちたいという目標に、これ以上無く合致していた。だから、内定が出た場合必ず就職しようと決意していた。

実際に就職して感じたことは、想像以上に周りの先輩方と自分自身との間に、とてつもない差があるということであった。自分が新入社員だからではなく、根本的に持っている能力が違うと感じさせられた。しかし、この状況こそが自分が望んでいたことであり、期待以上の環境に胸躍らせた。絶対勝てない勝負に挑むことは、挑戦ではなく無謀と言うのかもしれないが、少しでも力になるために、挑戦し続けることを目標とした。

しかし、挑戦し続けることと常に隣り合わせにあるのが、迷惑をかけることである。そのため、自分が挑戦することと、しないことの線引きだけは、間違えないようにしなければならない。例えば、自社製品を紹介しに行く仕事に挑戦したとしても、自社製品をまだ理解しきっていない現状では、説明などできない。そうなった時に、信用を失う

可能性がある。それは、自分だけでなく会社全体である可能性も、否定できない。このことを就職するまで理解できていなかったが、仕事を行う過程で思い知らされた。挑戦することには、常に責任が伴うのである。そこで、現在は自分自身で責任の取れることを主に挑戦している。

就職して最初に挑戦したものは、資格の取得である。電気系の資格の中に、第三種電気主任技術者という資格があり、これを取りに行くことにした。この資格を取得するためには、「理論」「機械」「電力」「法規」の4科目を取得しなければならず、また取得率も低い難易度の高い資格の一つである。私は、大学時代に勉強が足りていない部分が多く、資格を取りに行くことで、復習を行うことができ、更には会社に知識面で、迷惑をかけないことに繋がると考えた。この資格は、4項目全てを同時に取得しなくてもよく、3年間で4項目を全て合格すればよい。そこで、今年は理論の項目を合格することを目指した。その結果、先日行われた試験で、理論を合格することができたため、来年電力と法規を確実に取るために勉強している。他にも取得を目指している資格もあり、資格取得の挑戦は、当分終わりそうにない。

次に取り組んだことは、英語の勉強である。長谷川電機工業は、海外へ進出し始めたばかりであり、勉強しておけば必要になった時、困らないと思ったためである。しかし、長く英語から離れていたため、なかなか覚えることができず、悪戦苦闘している。先の資格の取得といい、挑戦が順風満帆に進んでいるとは言えないが、過去の自分を考えれば、挑戦していること自体が大きな進歩である。現状としては、楽しんで取り組むことができている。

そして何よりも必死に取り組まなければいけないことが、やはり日々の業務である。現在、主には「検電器」関係の試験や、製品の図面の作成及び修正など、様々な仕事に取り組ませていただいている。大学時代には全く経験の無かった業務も多く、毎日が挑戦と発見の繰り返しである。色々なことに取り組む際、私が一番大切にしていることは、「成功しても失敗しても、必ず反省を行う」ことである。基本的には失敗ばかりで、先輩方には多大なご迷惑をかけているため、反省するのは当然である。だからこそ成功した時も同様、又はそれ以上に反省し、次の業務に活かすことを意識している。このことが、自分を成長させ企業へ貢献し、結果として人々に役に立つことになると考えている。

四. これからの挑戦

現在は、自分が成長することが主な目標となっているが、将来は成長した結果を企業に還元し、人々の役に立つことを目標と考えている。そして、その頃には自分と企業両方の責任を背負いながら、業務を行う必要が出てくると考えられる。そのために何に挑戦することが必要か考えた時、「常に向上心を持って、日々の業務に対する挑戦と反省を行うこと」だと考えられる。なぜなら、日々の挑戦と反省の積み重ねが自信となり、積み重ねた自信があるから、責任を背負うことができると私は考えたからである。

検電器を例にして考えてみる。検電器は電路に電圧が存在している場合、音と光で使用者に知らせる機器である。電圧のかかっている電路を誤って切断し、感電事故が起こることを防止する役割や、短絡と呼ばれる故障に繋がる原因を防止する役割を果たしている。その構造は単純ではあるものの、独特なものとなっている。そのため、新しい検電器を作ろうとした場合、検電器の知識が乏しい人間に、任せられるかと言われると、非常に難しいものになるだろう。そのため、知識のある人間に任されることが多くなる。これは、検電器に限らず、基本的にどんな製品であっても共通したものであると言える。では、知識のある人間がどのように知識をつけたかと考えると、製品に多く関わり、挑戦と反省を行ってきた結果であると考えることができる。また、挑戦と反省の積み重ねが経験となり、経験が自分の行う挑戦に対する自信となり、責任を背負う支えとなっていると感じたからだ。

長谷川電機工業に入社して、私が一番嬉しく感じていることは、毎日が新しいことへの挑戦に溢れていることである。残念ながら、私にはこれまで積み重ねてきたものが浅く、更に能力的にも大きく劣っている。そのため、もしも違う企業に入社していた場合、これほど早く、様々な挑戦をさせていただくことは難しかったと思う。いくら挑戦し、成長し貢献したいと考えても、その機会に恵まれなければ、足踏みをするようになってしまう。更に、自分の周りには目標となってくださる方々ばかりであり、その方々に少しでも追いつきたい、貢献したいと思う気持ちが、私が挑戦を続ける大きな支えになっている。

これまでの内容を見ていただければ、大体わかるかもしれないが、現在の私は様々な挑戦しているだけであり、それがどのように繋がるかは考えきれておらず、非常に抽象的な物になっている。しかし、私はそれでいいと思っている。まだ私の企業人として、挑戦し続ける人生は始まったばかりであり、いつの日か具体的な挑戦になったそのときこそ、私が成長した証になっていると私は信じている。

第4回フレッシュマン産業論文コンクール入賞者一覧

◆最優秀賞◆

長谷川電機工業(株) 佐野 桂介さん

◆優 秀 賞◆

(株)タクミナ 中村 昇平さん

◆優 良 賞◆

(株)コベルコ科研 原野 敬久さん

長谷川電機工業(株) 山本 勝也さん

◆努 力 賞◆

(株)タクミナ 丸田 祐也さん

フルヤ工業(株) 大江 雄也さん



<後列>

原野 敬久 山本 勝也 丸田 祐也 大江 雄也

<前列>

佐野 桂介 金井副会長 大西会長 中村 昇平

(敬称略)

第13回 兵庫工業会 ゴルフ大会 2017

5月13日(土)、センチュリー三木ゴルフ倶楽部にて、兵庫工業会ゴルフ大会を開催しました。(参加者29名)

担当者の普段の行いが悪いのか、前日から降った雨がなかなか止まず、多少寒さも感じる中、参加された方々は奮戦されていました。今回はハーフの9ホールを女子プロとラウンドしていただく企画を実施して、懇親会でのプロコーチによるゴルフセミナーと合わせて、皆様楽しくすごしていただけたようでした。

ダブルペリア方式による優勝者など結果は以下の通りです。



☆優 勝☆ 降矢 寿民氏 (フルヤ工業(株) 代表取締役社長) Gross 87(OUT44/IN43) NET 71.4

☆準 優 勝☆ 清水 泰司氏 (株)シミズテック 常務取締役)

☆第 3 位☆ 神門 登氏 (ハニー化成(株) 専務取締役)

☆B B 賞☆ 中野 雅夫氏 (株)カワサキライフコーポレーション 総務部 担当部長)

☆バズグロ賞☆ 降矢 寿民氏 (フルヤ工業(株) 代表取締役社長)

平成29年度 創意工夫功労者賞伝達式

4月19日(水)、兵庫県民会館におきまして平成29年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」伝達式が行われ、下記の方々が受賞されました。

川崎重工業(株) 明石工場	山根 大介
川崎重工業(株) 神戸工場	吉岡 信一
川崎重工業(株) 播磨工場	岡本 尚也
川崎重工業(株) 兵庫工場	阿賀 秀行
(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所	吉岡 憲人、河野 太郎
(株)神戸製鋼所 神戸製鉄所	福本 人基、諸井 健人
新日鐵住金(株) 技術開発本部	中村 真理
新日鐵住金(株) 広畑製鉄所	柴 靖規、竹中 豊和
西芝電機(株) 本社工場	森 清弘、青木 実
三菱日立パワーシステムズ(株)	森宗 雅也、前角 悟、稲澤 太悟、小山 信一
三菱重工業(株) 高砂製作所	川合 祐二

以上18名 敬称略

表彰された皆様は平成29年度「職域における創意工夫者表彰」知事賞受賞者の中から特に優秀な方々を兵庫県が推薦し、このたび受賞の運びとなりました。おめでとうございます。

イベント情報

夏のビッグイベント2017(予告)

兵庫県下の4団体(公益社団法人兵庫工業会、公益財団法人ひょうご産業活性化センター、兵庫県中小企業団体中央会、一般社団法人関西ニュービジネス協議会)共催による「夏のビッグイベント」も、恒例行事としてすっかりおなじみとなり、16回目を迎えることになりました。

今年は、「ハトに嫌われた銅像の化学的考察」で、2003年にイグ・ノーベル賞を受賞した、金沢大学 廣瀬名誉教授をお招きして、「ビジネスのネタ探し」について講演を予定しています。

「どうして?」と疑問を持ち、こだわり続けて多くの発明をし、ビジネスを生み出しています。

また、分科会では「ブランディングアプローチ術」と題して、成功事例を交えながら、ブランディングを基礎から考え、会員企業の皆様に少しでも役立てることが出来る内容で、夏のビッグイベントをお届けします。

今年も多くの方々のご参加をお待ちしております。



鳥が止まらぬと言われる
日本武尊像(金沢兼六園)

- ☆開催日 平成29年8月31日(木) 13時～
- ☆開催場所 ホテルオークラ神戸
- ☆分科会 「ブランディングアプローチ術」
- ☆基調講演 「ビジネスのネタ探し」 廣瀬 幸雄氏(金沢大学 名誉教授)

！ 9月開催！

第35回 管 理 監 督 者 研 修

企業も組織の内外で厳しい選択を迫られる中で、生き残り発展していくには、第一線のチームリーダーがリーダーシップを発揮して、自律したものづくり組織（現場）を実現していく事が必要不可欠な時代です。

これまで通り、リーダー・係長クラス、新任管理職クラスを1泊2日で実施いたしますとともに、カリキュラムを刷新しました上級管理職クラスにつきましては、5か月後にフォローも含めた研修を実施いたします。

各企業におかれましては、奮ってご派遣いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

開 催 日：平成29年9月8日(金)～9日(土)（1泊2日研修）

※上級管理職クラスは2回目を平成30年2月2日(金)～3日(土)に実施

場 所：加古川プラザホテル(JR加古川駅 徒歩5分)

開講クラス：

クラス	受講対象者（目安）
①リーダー・係長クラス	非管理監督者（非管理職）でリーダーシップを発揮される方（係長・職長・現場長など）
②新任管理職クラス	新任管理監督者（管理職）またはこれからその立場に立たれる方（管理職就任前・就任後3年以内、課長）
③上級管理職クラス ※2回目を平成30年2月2日～3日に実施	管理監督者（管理職）として3年以上の勤務経験があり、上級管理職の方、またはそれを目指す方（部長以上）

受 講 料：①リーダー・係長クラス ②新任管理職クラス… 会員企業 1名 37,800円

③上級管理職クラス…………… 会員企業 1名 75,600円

※複数人受講による割引有

※研修実施時間帯の昼食・朝食・夕食代・テキスト代含む

お問い合わせ・お申込み

公益社団法人 兵庫工業会 神戸事務所

TEL：078-361-5667 FAX：078-371-4336

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階

担当：川本 kawamoto@hyogo-ia.or.jp / 田辺 tanabe@hyogo-ia.or.jp

兵庫工業会 ホームページからもお申込みいただけます。



株式会社 カコテクノス

所在地：〒654-0024 兵庫県神戸市須磨区大田町7-4-2
TEL：078-732-3851 FAX：078-732-3856
URL：<http://www.kako.co.jp/>
代表者：代表取締役社長 加古泰三

1935年創業以来、お客様の要望に応えるとともに最適なQCDの実現に向けて取り組んでいます。1980年頃から設計から製造・試験・検査までを引き受ける一貫生産体制に着手して来ました。弊社の事業を表すキーワードは「止める技術」です。あらゆる環境の中でも、安全・安定・確実に電気や動きを止める技術で社会への貢献を目指しています。

鉄道車両を安全・安定・確実に「止める」

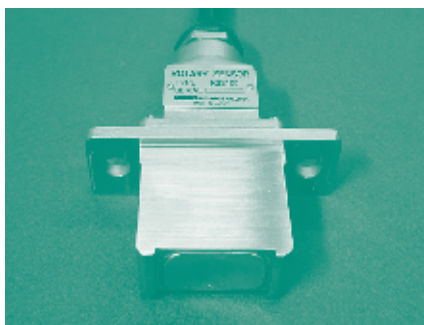
主な事業は、新幹線をはじめとする鉄道車両用ブレーキ装置や制御装置の製造です。主に車両の床下に設置される制御装置は、雨やほこり、振動などの過酷な環境に耐えうる堅牢性が求められます。防水・防塵・耐震・耐久に対応するための構造設計と、ノイズ・低電圧に対応するための回路設計。それらの設計技術と製造技術の融合による最適製品の提供、更には試験・検査といった品質保証まで、社内各部門が連携し、より良い製品の製造を実施しています。



小野工場



工場内に静態保存している鉄道車両



回転速度センサ

次世代の信号システムを担う「回転速度センサ」

自社製品「回転速度センサ」が2016年度「関西ものづくり新撰2016」ならびに「ひょうごNo.1ものづくり大賞」を受賞しました。鉄道車両のモーターや車軸に搭載されるため、限られたスペースで耐環境性が求められますが、小型・軽量でありながら高品質・高出力の速度センサの製品化を実現しました。現在、次世代の信号システムに対応した極低速域でも検知可能なセンサの開発に取り組んでいます。

「職域における創意工夫者表彰」ならびに「兵庫県技能顕功賞」を継続受賞!

創業当初から、お客様が望まれた以上のものを提案するために社員全員での改善活動・技能研鑽に取り組んでおり、「職域における創意工夫者表彰」は20年連続(うち3回は文部科学大臣賞)、「兵庫県技能顕功賞」は14年連続受賞させて頂いています。「よりよく、もっとよりよく」を常に心がけ、2016年4月に開設した新工場では既存工場と連携したIoT構築やロボットの導入も進めております。事業内容も電鉄分野の海外展開、発電所向け制御機器の開発、人工衛星といった宇宙分野まで、「止める技術」を拡げることにも力を注いでいます。



2016年4月開設の新工場

会 員 動 向

代表登録者変更				
企 業 名	新 登 録 者		旧 登 録 者	変 更 月
兵庫県機械技術研究会	会長	加古 公一	宮脇 隆一郎	平成29年4月
新日鐵住金(株) 鋼管事業部 尼崎製造所	執行役員 尼崎製造所長	衣笠 秀典	山寺 芳美	平成29年4月
(株)エベック	代表取締役社長	宮本 一男	宮本 治彦	平成29年5月
認定NPO法人産業人OBネット	理事長	服部 晃	野田 浩志	平成29年5月
一般社団法人神戸貿易協会	会長	長田 庄太郎	新 尚一	平成29年5月

叙勲・褒章の栄

平成29年春の叙勲・褒章が発表され、兵庫工業会では、次の方がその栄に浴されました。
会員の皆様とともに、心からお祝い申し上げます。

旭日双光章	竹田 佑一 氏	まねき食品(株) 代表取締役社長
旭日単光章	下土井 康晴 氏	明興産業(株) 代表取締役会長

イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
8月4日(金)	第1回現場安全研究会	神戸製鋼所 加古川製鉄所
8月31日(木)	夏のビッグイベント2017	ホテルオークラ神戸

夏期休業のお知らせ

兵庫工業会事務局は、誠に勝手ながら8月11日(金)～8月16日(水)まで、夏期休業といたします。(8月17日(木)より通常業務)。この間何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



公益社団法人 兵庫工業会

本 部 | 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター 3階
神戸事務所 | TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336
Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所 | 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる 3階
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231